

目で見る明治大学の歩み

Me de Miru Meiji Daigaku no Ayumi

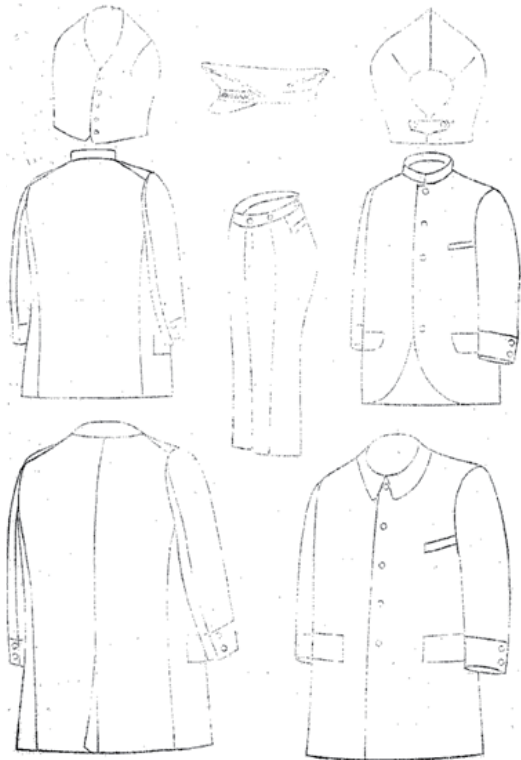
vol.46



1899(明治32)年

卒業記念写真

後列が学生たちです。当時は私立学校には制服はなく、学生たちはおもいおもいの着物を着ていました。



1901(明治34)年

服制制定記事『明治法学』第20号

この時期、各大学で制服が定められました。

今回は、明治大学に残されている写真から、大学生の服装の変化を紹介します。
(明治大学史資料センター 村松 玄太)

学生ファッションの移り変わり



1911(明治44)年

授業風景

制服と着物の学生が混在しています。制服は強制的なものではありませんでした。制服をほぼ全員が着るようになるのは1920年代になってからです。



1904(明治36)年

予科生の日光修学旅行写真

予科とは今の教養課程にあたります。すでに制服が定着していることが窺えます。



1930年代

女子部制服写真

情報コミュニケーション学部のルーツである、明治大学女子部の制服です。しかし制服は定められたものの、着物で登校する学生も多く、女子部で制服が定着するのは、1940年代に入ってからでした。



1965(昭和40)年

文学部学生集合写真

男子学生が学生服を着ていたのは昭和30年代までです。それ以降は、ほとんどの学生は私服で大学に通うようになりました。